

新自由主義教育改革の破綻 公教育破壊に団結して立ち向かおう!

全国労組交流センター教育労働者部会の訴え
すべての教育労働者は職場の
仲間とともに11・7集会に集まろう!

■免許更新制が廃止に

文科省は、教員免許に10年の有効期限を設け、更新の際に30時間以上の講習受講を義務づける「教員免許更新制を廃止」する方針を固めた。自民党内では「なくすのは簡

単だが、もう一度つくるのは大変だ」など異論が相次いだ。それはそうだろう。目的は教員の選別排除、国家統制、組合破壊であり、戦前の国定教員づくりと同様の戦争と改憲攻

教員免許更新制廃止へ 資質向上効果薄く

来年法改正

政府は、幼稚園や小中学校などの教員免許を10年で更新する教員免許更新制を廃止する方針を固めた。更新制は教員にとって手間がかかる割に、資質向上効果が低いと判断した。免許を無期限とする代わりに、教育委員会による研修を充実・強化させる。文部科学省が8月中に中央教育審議会(文科相の諮問機関)に方針を示し、来年の通常国会に関連法案を提出する予定だ。

教委研修は充実・強化

更新制は、「教育再生」(新の知識・技能の習得)を掲げた第1次安倍内閣時(文科省の調査によると、昨年度の2017年の法改正で、年3月未だ期限だった規程導入が決まり、0年度から)教員のうち、特別による期実施された。目的は不適格・間延長も含めて免許更新しな教員の排除ではなく、最一たは強・弱だった。

現在の教員免許更新の流れ

- 1 全国の大学などで開設されている受講先を選び、申し込み
- 2 大学などで30時間以上の更新講習を受講
- 3 修了証明書添えて都道府県教委に更新を申請
- 4 免許が更新される

10年の有効期限が近づいていた。受講時間確保が難しく、開かれる更新講座が講料負担への不満も多い。受講先を選び、申し込み。教育政策の動向や教科指導に関する30時間以上の講習を受講し、教委に申請すれば免許更新が完了する。しかし、学校現場からは講習に「実践的ではない」「教委の研修と内容が重複している」などの不満が出ている。

2021/7/11

読売新聞

撃だ。その安倍・菅の新自由主義「教育改革」の最大の攻撃がわずか12年で大破綻に追い込まれたのだ。廃止の引き金は、教員採用試験の競争倍率の激減だ。長時間労働のブラック職場のうえに、自由な教育活動は国に縛られ、しかも10年ごとに失職・解雇の可能性がある学校と教職に、若者が希望をもって就職しようと思うだろうか。

■公教育を奪い返すとき

菅は無責任にもコロナ感染爆発下で政権を放り出した。だが医療労働者がそう

であるように、教育労働者は教育を放り出すことはできない。教育に、子どもたちの未来に責任をとるのが教育労働者と教職員組合の仕事だ。

「五輪やってる場合か! オリパラ学校観戦中止の要請行動」は、現場の怒りとひとつに圧倒的共感を広げた。

コロナ禍を利用し「学びを止めない」と称してすすめられるオンライン教育やGIGAスクール構想に、現場は「学力と何か、教育とは何か」という本質を問いただしている。

教育の民営化・非正規職化で破壊された公教育を奪いかえす時は今だ。闘えば必ず展望は開ける。闘う労働者をつなぎ合う11・7集会に、職場の仲間と結集しよう!